



## 「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン 策定にあたって

蕨市では、昭和34年の市制施行後、4次にわたり総合振興計画を策定し、市民と行政が一体となったまちづくりが展開され、全国に先駆けてコミュニティによるまちづくりを推進してきました。

現在、わが国においては、人口減少・少子高齢化社会の到来や先行き不透明な経済状況に加え、首都直下型地震への備えなどへの対応といった、多くの課題に直面しており、これらの課題を解決しつつ、日本が将来にわたり、真に豊かで、だれもが安心して暮らせる社会へと発展していくためには、地方を主役とした国づくりが求められています。

このようななか、蕨市では、第4次蕨市総合振興計画に代わる新たな最上位計画として、平成26年度から10年間を計画期間とした「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンを策定しました。

本計画の核となる将来構想では、これまで進めてきた市民と行政との協働によるまちづくりを更に発展させるべく、まちづくりの理念を「みんなで未来の蕨を創る」とし、目指すべきまちの将来像を「安心とにぎわい みんなにあたたかい 日本一のコンパクトシティ蕨」としました。この将来構想は、単に蕨が日本一小さな市であるということだけではなく、歴史・文化、コミュニティの豊かさと利便性の高さをあわせ持つ「コンパクトシティ蕨」の魅力を最大限に活かして、「このまちに住んでよかった」と心がホッと、笑顔になれる、そんな日本一住みやすいまちを目指そうという構想であります。

そのためのキーワードは、まちの将来像やまちづくりの3つの基本方向で示しているとおり「安心」「にぎわい」「みんなにあたたかい」まちであり、そうしたまちを実現していくいちばんの推進力は市民との協働にあります。

私は、本計画に基づき、日本一のコンパクトシティ蕨を目指して、だれもが「わがまち」と実感できる、魅力あるまちづくりを進めていく決意であります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、蕨市の行政運営に係る長期計画審議会委員、市議会議員各位に心から感謝申し上げますとともに、本計画の推進に向け、なお一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成26年3月 蕨市長 頼高 英雄